



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「ともに光の中を歩もう」	“Let Us Walk in the Light -Together.”
アジア地域会長主題	「ワイズ運動を尊重しよう」	“Respect Y' s Movement ”
西日本区理事主題	「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」	
	“Healthy mind & healthy body make healthy club”	
中部部長主題	「愛し合い、助け合い、心はいつも青春！」	
金沢クラブ会長主題	「語り合おう 伝え合おう 楽しいワイズライフを」	

2018 5 月間強調 LT

今月の聖句 (朝倉みゆきさん)

木が良ければその実も良いとし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。木の良し悪しは、その結ぶ実で分かる。

マタイによる福音書 12章33節

5月強調月間

リーダーシップ無くしてリーダーに非ず！クラブ、部、区、あらゆる機会に学びの場が存在します。その機会を学びと捉えるか否かがリーダーの資質の違いです。全てを有意義に捉えリーダーシップを身に着けて下さい。

船木順司ワイズリーダーシップ開発委員長 (京都トップス)

5月例会 プログラム

とき	2018年5月17日 (Thu.) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
会費	¥3,000 (会員は無料) ¥2,000 (メネット)
司会	澁谷洋太郎君
開会・点鐘	幸正一誠会長
主 題	司 会 者
ワイズソング	一 同
今月の聖句	司 会 者
ハッピーバースデー	幸正一誠会長
ゲスト紹介	浅倉みゆきさん
食前の感謝	山内ミハルさん
スピーチ	浅倉秀之氏
	“腹話術について”
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム	伊藤仁信君
YMCAの歌	一 同
閉会・点鐘	幸正一誠会長

4月 クラブ活動状況

第1例会 (4月19日 Thu.)

メ ン	朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、西、山内、山本 (浩)	(8名)
メキップ	なし	(0名)
出席率	80%	充足率 150%
メネット	朝倉、伊藤、数澤、澁谷	(4名)
ゲスト	前田氏、濱岸氏、吉川さん	(3名)

第2例会 (4月2日 Mon.)

メ ン	伊藤、数澤、幸正、澁谷、西、山内、山本 (浩)	(7名)
メネット	数澤	(1名)

ニコニコタイム

	15,000円
クラブファン ド	累計 399,400円

B Fポイント

切手	0g	累計	0g
現金	0円	累計	15,720円

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30

金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311

第二例会：毎月1日 18:30~20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

会 長	幸正一誠	書 記	山内ミハル
副会長	澁谷洋太郎	会 計	伊藤仁信
直前会長	西 信 之	メネット会長	山本典子

2度目の金沢

山本 浩一郎

横浜から金沢に移住して2年半になります。

30年前の金沢とは大きく変わっていると感じます。町の様子が変わったのと同時に、自分自身の環境も変わり感じ方が変わったのもあるでしょう。町の様子は、変化が大きい所と、昔のままの所が混在しています。

駅周辺、武蔵・近江町、香林坊は大きく変わっています。しかしそれから少し入ってみると、例えば駅周辺と武蔵の間、諸江町の一步裏町へ入ると古い町屋も多く、暗く沈んだ金沢が見られます。

金沢城大手門、近江町周辺は大きく変わりつつあります。古民家の改造が盛んで、外側はそのまま残し、中はモダンなインテリアのレストランやプチホテルが増えています。昔からの住民はいなくなり東京・大阪からの移住者に代わり、県外資本が入ってきています。

工芸の分野でも、展覧会や店を覗くと九谷焼や輪島塗の伝統工芸品から新しいデザインの工芸品が増えています。金沢美大や卯辰山工芸工房に全国から学生が集まり、創り出す新しいデザインが目を奪っています。

日課のようにしているウォーキングで街を歩いていると、これらの新旧のモザイク模様が楽しくなり、歩数も自然に増え健康効果も上がります。

人の心は変わったでしょうか。人の心はそう簡単にかわらないでしょう。しかし旧型人間と新型人間が交流すると、スーパー新人間が誕生するかも知れません。そこから新しい文化やビジネスが発生することを期待しましょう。

ところで、能登半島の海の真っ正面には北朝鮮とロシアの国境があります。石川は北朝鮮の漁船が漂着したり、結構リスクの高いところと感じます。今、急に世界の動きが早まりました。南北朝鮮の融和が達成されると、安心感が産まれます。やがて新幹線が延伸されると、さらに人が集まる住みやすい町になるでしょう。もっともその頃には、私はお許しただければ、天国にいるかもしれません。地上の楽園が良いか、天の楽園が良いか。もう少し金沢に長く暮らしたいなー。こんなノー天気なことが言えるのも金沢に来たお陰です。

【4月例会報告】

4月の第一例会時の卓話として石川県立工業高校雪章ギャラリー運営委員の濱岸勝義氏にお願いをしました。「石川県近代工芸（江戸末期から）の発展について」という冊子を中心にお話されましたが「万国博覧会に見る日本の美術工芸の位置づけと技術改革」という副題がついておりましたが、特に北陸地方とりわけ

朝倉 秀之氏 プロフィール

74歳

金沢YMCA理事長

東京上野生まれ

1982年4月1日 北陸学院勤務

2018年3月31日 北陸学院退職

趣味：テニス、腹話術

(腹話術師名 アーサー・アサクラ)

文筆名：桐花 徹（きりはな とおる）

石川県との関わりを詳しく解説され、また、裏側の見えない部分からも分析され大変興味深くお聞きしました。

江戸末期から明治初めに掛けて世界では万国博覧会が各国で開催されており、日本も近代国家の仲間入りを目指していた江戸末期の有力者や日本政府（明治政府）が国威発揚、技術伝承や輸出振興などのため、浮世絵、陶磁器、彫刻、楽器などを出品しましたが1873年（明治6年）ウイーン万博に石川県からは雲鶴蒔絵小蓋（米光屋作）、銅象嵌鏡（村沢作）、火打谷マンガン（羽咋産）などを出品したとあります。このような博覧会の影響で国外のデザインを図案と訳したり九谷焼に石膏型の活用を本格化したりするようになりました。1876年（明治9年）のフィラデルフィア万博では、生糸や製陶技術などが国外から大変評価され日本の技術者の招聘等があったようだが日本国の発展のためと断ったそうです。技術の流出を避けたのでしよう。



石川ではこの年に納富介次郎、鈴木深令を招聘し陶磁器を学んだ。しかし国外からこのように評価を受けると品質の不均一とか粗製乱造などに陥り、また国外の模倣が著しくなり国内の関係者は大変憂いたのである。工芸品の量産化と模倣禁止の法的整備に加え充実

した美術工芸教育の必要性が明らかになってきました。1877年(明治10年)には第1回内国勸業博覧会が開催され石川の金沢銅製品10品余が出品され多大な評価を得ている。

これに自信を得て金沢の金職工は1878年(明治11年)のパリ万博に向けて出品すべく各種の研究などを行った。宮内省からの用命をも受けるようになり輸出等も活気づいた。その勢いでパリ万博に参加し各種の国際会議などにも参加したためジャポニズムの熱が最も高まった万博だったようです。

石川県では1874年(明治7年)ころから産業博物館などを創設し、1880年(明治13年)には勸業博物館と名前を改称し内外の産物を展示したり館員や技師・職工などの充実を図り県内産業の育成発展の一助となった。しかしその間急激な産業界の変化のため、同業者間の摩擦や売ればよいということで粗製乱造し薄利しか得られず色んな弊害が出てきたので1882年(明治15年)に県は、納富介次郎を招聘しその改善策を委託する。彼は団結利得の具体策として組合組織をつくることを提案しその結果優秀な作品の評価を得また多くの人材をも輩出されました。

納富介次郎は一旦金澤を離れるが再度県から招聘されたので、輸出に力を入れると同時に高度な製品化を図るため工業教育の必要性を説き工業学校の設立を提案した。紆余曲折があったが1887年(明治20年)に金沢区工業学校が設立され年齢制限を設けず技術者の再教育から始まり後には専門的な学部学科を設け本格的な教育機関として整備された。その後1893年(明治26年)シカゴ万博、1904年(明治37年)セントルイス万博等を通して日本の工芸も「ART」と認められ、「学理を講究してこれを応用する技術者を教育する工業学校」の誕生や勸業博覧会への出品、あるいは実業教育費国庫補助法制定などを実施せ工業学校を全国に普及する原動力となった。これには納富介次郎のなみなみならぬ貢献が寄与したことは言うまでもありません。



以上江戸末期から明治末期ころまでの石川県を中心にした日本の工芸品と工業学校の発展の礎を濱岸勝義氏はこの小冊子を中心にご説明されましたが造詣が深くまた、なかなか内容が複雑で入り組んでおり門外漢の私には理解するのに困難でした。小生の理解できた範囲と感想等を交えて要約しましたので趣旨とは少し離れたりまた間違った理解をしているかもしれませんが、なお許し頂ければありがたいです。当クラブのため貴重な時間を割いていただき有り難うございました。また濱岸氏をご紹介して下さった幸正会長に感謝いたします。(文責 伊藤 仁信)

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆中部評議会・EMCシンポジウム

日時：2018年5月19日(土)
会場：名古屋YMCA本館(名古屋池下)
時間：11:00~12:30 EMCシンポジウム
13:15~14:15 今期評議会
14:15~15:00 次期評議会
この後 懇親会

☆西日本区大会

日時：2018年6月9日(土)~10日(日)
会場：ANAクラウンプラザホテル神戸
基調講演：有森裕子氏
“わたしとスペシャルオリンピックス活動”
登録費：早期申込み 1/20~3/30 20,000円
通常申込 4/1~5/10 22,000円
参加予定：伊藤、数澤メン・メネット、幸正、澁谷、清水、西(1日)、山内

~~~~~ YMCAからのお知らせ ~~~~~

☆YMCA総会

日時：5月26日(土) 16:00~18:30
食事は準備します
場所：梅光学童クラブ
金沢市石引4-6-1 TEL (076) 232-1071
議事：1. 理事改選に関する件
2. 2017年度事業実施及び決算について
3. 2018年度事業計画及び予算について
4. その他
懇親会：YMCAの今後のあり方について



Kappy Birthday

西 信之君 5月6日
幸正 まり子さん 5月19日

6月の担当

聖句担当：山本 達也君
ブリテン執筆：幸正 一誠君
山本 典子さん



メ ネット 報



観桜会

伊藤 悦子

今年は、あの大雪が嘘のように過ぎ去り、突然初春を迎えたような気候になり桜の花も吃驚して、思わず開花を急いだような今日この頃の気象状態です。特に高年齢の私共にとっては心身共に対応しきれず大変途惑っております。このような時こそ恒例のメネット会主催の観桜会を早く開催して元気を出そうと、担当者の方が場所と時間を早々に予約をしてきました。私だけにかも知れませんが、物事もこのように即座に決まると大変有り難いとの声がどこからともなく聞こえてきました。

前置きはこの位にして、場所は金沢城を目の前にしたKKR金沢ホテルに午後6時30分に集合することにし、桜は好きなところを見て来て感想を話す予定でした。日本人の特質で、花より団子で申し訳程度の話しかありませんでした。私達は、間違いなく日本人のDNAを受け継いでおります。早速幸正会長さんの開会の乾杯で団子の方に箸が動きだしました。団子は「西洋懐石味彩」と言い「箸で召し上がって頂く人気の金沢フレンチ」と注釈がついている料理でした。

Amuse (アミューズ)、Hors D'oeuvre (オードブル)、Soupe (スープ) と進むうちに最初の頃はこれでは



‘おなか’が膨れないなと思っておりましたが、最後のPoisson (ポワソン 魚)、Viandes (ヴィアンド 肉)などは何とやっとなんか’に入りました。



私達はテーブルの端の方に着いたので特に主人は難聴なので皆さんの話が聞き取り難く、お酒の好きな某クラブ会長さんの笑い声だけはよく聞こえてきました。後は部分的に高声だけが聞こえてくるようでした。向かい側の朝倉みゆきさんにお尋ねしたところ金沢駅の鼓門の材質を「よねまつ」と呼んで大笑いした時の声でしたとの話でした。本当は「べいまつ」と読むのだが間違っただけで面白かったということです。それだけですと「そんなことか」と何も大騒ぎするほどのことでもない単純なことですが、話の前後なりその場の雰囲気なりが判らないと面白味がなかなか伝わりにくいものです。私たちの周りはこのような状態でしたのでただ黙々と洋風懐石に集中して、そのおいしさを十分に堪能いたしました。

今回の花見は話に花を咲かせ、さらにゲストとして吉川與志子さんが花を添えて頂きありがとうございました。今後のことですがテーブルの形が細長く、両端からは話が見えにくかったのでレポートを纏めるのに大変苦労しましたが、最後に12名のご参加を頂きお陰様で無事終わることができました。皆様のご協力ありがとうございました。

